

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：4/1～4/5

### ・ 4/1(月)

働き方改革、米軍輸送機オスプレイ、金正男殺害事件の被告などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、米軍輸送機オスプレイについては検証者の所感を記しました。

### ・ 4/2(火)

ウクライナ大統領選挙、塚田国交副大臣の「付度」発言、泉佐野市のふるさと納税再開、立憲民主党が参院選候補の公認取り消し、シナイ半島に自衛官派遣へなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、塚田国交副大臣の「付度」発言および立憲民主党が参院選候補の公認取り消しについては検証者の所感を記しました。

### ・ 4/3(水)

塚田国交副大臣、ゴーン事件、中国の駐日大使、トランプ大統領、天皇陛下が行事欠席などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、塚田国交副大臣については印象操作の疑いのある場面が見られました。なお、塚田国交副大臣については検証者の所感もあわせて記しました。

### ・ 4/4(木)

塚田副大臣「付度」発言、徴用工訴訟問題、天皇陛下が公務に復帰などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、塚田副大臣「付度」発言については放送法上問題のある場面が見られました。

### ・ 4/5(金)

塚田国交副大臣辞任、コンビニエンスストアの営業時間問題、米軍普天間飛行場移設問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年4月1日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙                  ゲスト：金澤翔子（ダウン症の天才書家）、鈴木洋仁（東洋大学研究助手）</p>		
<p>検証テーマ：働き方改革、米軍輸送機オスプレイ、金正男殺害事件の被告</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新元号</li> <li>・東京都杉並区保育士殺害事件</li> <li>・働き方改革</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today</li> <li>新元号</li> <li>米軍輸送機オスプレイ</li> <li>金正男殺害事件の被告</li> <li>出光興産とシェル昭和石油の経営統合</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革：結論→特になし                      今日施行された働き方改革関連法について、適用されるのは大企業で残業時間の上限は原則一ヶ月で45時間。1年で360時間となること、特別な事情がある企業でも月に100時間未満1年で最大720時間以内となり守らなければ罰則が適用されるとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li> <li>・米軍輸送機オスプレイ：結論→特になし                      今日午後二時頃アメリカ軍の輸送機オスプレイが大阪伊丹空港の滑走路に緊急着陸したこと、このオスプレイは山口県の岩国基地から神奈川県厚木基地に向かう途中だったということで緊急着陸した理由はわかっていないということが報じられた。このトピックに当てられた時間は26秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li> <li>・金正男殺害事件の被告：結論→特になし                      北朝鮮の金正恩党委員長の兄の金正男氏が殺害された事件で殺人の罪に問われていたベトナム国籍のドワン・ティ・フォン被告の起訴内容が危険物による障害罪に変更され裁判所は禁錮3年4ヶ月の判決を言い渡しましたとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li> </ul>		

## NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・米軍輸送機オスプレイ

在日米軍基地関係のニュースについて沖縄県の問題とそれ以外の都道府県の問題とではメディアの取り上げる分量が異なるように感じられる。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年4月2日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：ウクライナ大統領選挙、塚田国交副大臣の「忬度」発言、泉佐野市のふるさと納税再開 立憲民主党が参院選候補の公認取り消し、シナイ半島に自衛官派遣へ</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜満開の一方で季節外れの雪景色</li> <li>・新元号</li> <li>・東京都杉並区保育士殺害事件</li> <li>・ウクライナ大統領選挙</li> <li>・ピエール瀧被告を起訴</li> <li>・塚田国交副大臣の「忬度」発言</li> <li>・泉佐野市のふるさと納税再開</li> <li>・立憲民主党が参院選候補の公認取り消し</li> <li>・シナイ半島に自衛官派遣へ</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today</li> </ul> <p>桜満開の一方で季節外れの雪景色 新元号 日経元社員を社員 3000 人分の情報流出の疑いで書類送検 中国四川省で山火事 今年の風疹患者 1000 人超え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクライナ大統領選挙：結論→ ウクライナの大統領選挙について取り上げられた。候補者の一人であるコメディ俳優のゼレンスキー氏について VTR で以下に朱記したように取り上げられた。</li> </ul> <p>"ナレ「華々しく舞台の中央に立つボロディミル・ゼレンスキー氏、31日の大統領選で2位のポロシェンコ大統領に大差をつけてトップに躍り出たウクライナの国民的コメディ俳優です。」</p> <p>ゼレンスキー候補「これから新しい生活が始まります、正常な生活です。それは汚職もなく賄賂もない生活です。」</p> <p>"黒岩亜純（報告）「ゼレンスキー候補はこうしたコンサートホールでいつもコメディショーを行っていますけれども大統領候補となった今、政治を風刺するというコメディが今、彼の大きな武器となっています。」</p> <p>ナレ「舞台に登場したゼレンスキー氏のそばには防弾ガラスを持った屈強な二人の男性、大統領候補の過剰敬語を揶揄した演出です。」</p> <p>ナレ「他の候補のように宣教集会は開かずこうしたショーで有権者の心をつかみました。」"</p>		

"フェセンコ氏「政治家を全く信用していない何百万人もの人たちが、ドラマに出てくる場面が現実となることを望んでいます。」

ナレ「ドラマの場面、それは4年前に始まったゼレンスキー氏主演のこのドラマ、平凡な教師があれよあれよという間に大統領になるストーリー、汚職や財閥との戦いに奮闘し、人気を博す主人公、これが現実になれば、どの国民の期待があるというのです。」

ステファンチュック（政策アドバイザー）「彼は神ではないし不通の人間です。ただ、問題をどう解決していくべきか、学ぼうとしている人なのです。」

ナレ「今回の大統領選の争点の一つはウクライナ東部の紛争問題 2014年以降、ウクライナ政府と独立を目指す親ロシア派との間で武力衝突が続き、今も親ロシア派が東部の2つの州で一部地域を支配しています。」

ゼレンスキー候補「我々が汚職と真剣に戦うことにより、東部の選挙された人達に対し素晴らしい手本を示すチャンスが有るのです。」

ナレ「ポロシェンコ大統領は南部クリミア半島を強制編入し東部に軍事介入したロシアに対して強硬姿勢で望んでいますが、ゼレンスキーうじはロシアとの交渉の必要性を訴えています。」

"カラショフ氏（政治評論家）「ウクライナ南東の住民はゼレンスキー氏の方を指示しています。彼ならロシアとの平和を結ぶ妥協点を見いだせそうだからです。」

ナレ「ドラマは現実となるのでしょうか、決選投票は21日に行われます。」

VTRをうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮塔子「政治経験がまったくないコメディアンがトップに立つ事情というのは知名度だけではなさそうですね。」

星浩「そうですね。まあ、ロシアとの対立が続いていますのでね、経済情勢もあまり良くなって若者の失業も高い、というので、そういう意味では政治に変化を求めるという動きは出ているんですね。このウクライナ情勢を非常の虎視眈々と見ているのはプーチン大統領だと思うんですね、このスキに親ロシア勢力をじわじわと広げていきたいと思っているわけですよね。まあおそらくアメリカもEUもそうだと黙っていないでしょうから、またウクライナがいろんな世界の注目点、商店になってくるということでしょうね。」

このトピックに当てられた時間は291秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・塚田国交副大臣の「付度」発言：結論→特に問題なし

塚田国土交通副大臣が昨日、北九州市の集会で下関と北九州の道路の整備をめぐり安倍総理と麻生副総理の地元の事業、と紹介した上で「国直轄の調査計画に引き上げた、私が付度した」と発言していたことがわかったとのこと、道路整備について事業を管轄する現職の副大臣が便宜を図ったとも受け止られかねない発言で塚田氏は今日「事実と異なるため、撤回し謝罪する」というコメントを文書で出しましたことが報じられた。また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"雨宮塔子「安倍総理と麻生副総理への付度と受け取れる発言ということでこれ、取り消せば済むということではないですよね。」

星浩「そうですね、陳情を受けた様子なんかかなり詳細に話していますので、その軽口だったということでは済まないと思うんですね、国交副大臣ですから権限と絡んでいますよね、それからかなりその選挙中の話ですから、

利益誘導につながるんじゃないかということもあって野党側は相当厳しく批判するんでしょうね。」 "

このトピックに当てられた時間は 85 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・泉佐野市のふるさと納税再開：結論→特に問題なし

大阪府の泉佐野市は返礼品の見直しなどのためとして 3 月末で停止していたふるさと納税の受付を再開し批判を受けていた寄付額の二割分のアマゾンギフト券を返礼品に上乘せするキャンペーンを再びはじめたとのこと  
が報じられた。このトピックに当てられた時間は 48 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・立憲民主党が参院選候補の公認取り消し：結論→特に問題なし

立憲民主党が夏の参議院選挙での擁立を決めていた弁護士の落合洋司氏は自身のツイッターで韓国のような  
ごろつきなどとする差別的な内容を繰り返し投稿したということで、立憲民主党は一連の投稿はヘイトスピーチ  
であり到底容認できないとし公認を取り消したことが、落合氏は立候補辞退を申し出たこととしてうえて、不適切なヘ  
イトスピーチだったと認め謝罪しているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 39 秒で放送  
法上は特に問題は見られなかった。

- ・シナイ半島に自衛官派遣へ：結論→特に問題なし

政府はシナイ半島でエジプトとイスラエルの停戦監視に当たる MFO 多国籍軍監視団に司令部要因として自衛  
官 2 人を派遣することを閣議決定したこと、派遣期間は今年 11 月 19 日から 11 月 30 日までで安全保障関連法で新設  
された国際連携平和活動で初のケースとなるとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 26 秒で  
放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・塚田国交副大臣の「忖度」発言

塚田国交副大臣の発言が軽率だったのは言うまでもないが、公共事業を行うにしても財源にも限りがある中で  
自分たちの地域が必要とする公共事業を優先して行うだとか地域の要望を国政で通すために選挙区民は政治家  
を育てている、あるいは有力政治家となった地元選出の議員に対して他の地域に優先して自分の地域での公共事  
業を行うことを有権者が期待している、という面は否定できない。そうした公共事業と政治の関係、及びそれを  
前提とした地元有権者から政治家への期待という構造自体に切り込まなければ、こうした問題の本質は見えてこ  
ないのではないだろうか。

- ・立憲民主党が参院選候補の公認取り消し

韓国という政府、法人を指して「ゴロツキ」というのがヘイトスピーチに該当するとすれば、ヘイトスピーチ  
かどうかという基準がどこにあるのだろうか、気になるところである。例えばアメリカ系の投資ファンドを「ハ

## NEWS23 週刊報告 詳細版

「ゲタカ」などというのはヘイトスピーチになるのか、北朝鮮を「ならず者国家」というのはヘイトスピーチになるのか、どういうものに対するどういう表現であればヘイトスピーチに該当するのか、その基準が明確に示されないまま、ヘイトスピーチというものがひとり歩きするのは大変危険な状況であると言える。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年4月3日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：塚田国交副大臣、ゴーン事件、中国の駐日大使、トランプ大統領、天皇陛下が行事欠席		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塚田国交副大臣の付度発言</li> <li>・ゴーン事件</li> <li>・切符の30年から見えること</li> <li>・ギネス世界記録の長髪に別れ</li> <li>・農薬漬けの米ハトの大量死で大東文化大学准教授を逮捕</li> <li>・トヨタがHVクルマの特許を無償開放</li> <li>・中国の駐日大使</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today</li> </ul> <p>塚田国交副大臣の付度発言          ゴーン事件          中国の駐日大使          トランプ大統領          バールで弟の頭を殴る          天皇陛下が行事欠席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塚田国交副大臣</li> </ul> <p>塚田国土交通副大臣の発言について、冒頭にスタジオで以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。</p> <p>雨宮塔子「安倍政権のもとでこれまで何度も問題とされてきた、付度という言葉。この言葉に今再び注目が集まっています。」</p> <p>駒田健吾「今回、その背景にあるのがある公共事業の構想です、その事業とは安倍総理の地元、山口県と麻生副総理の地元福岡県を結ぶ道路整備の構想なんですが、一体誰が何を付度したのか、まずはこの発言からお聞きください。」</p> <p>上記を導入に、以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。</p> <p>塚田国交副大臣「みなさんこんばんは、ご紹介預かりました国土交通副大臣の塚田一郎でございます。麻生太郎命で筋金入りの麻生派でございます。」</p> <p>ナレ「福岡県知事選挙に向けた自民党の集会で挨拶に立った国交省の塚田一郎副大臣。問題の発言は命、と慕う麻生氏と安倍総理に関係するものでした。」</p> <p>塚田国交副大臣「下関と北九州ですよ、皆さんよく考えてください。下関誰の地盤ですか、安倍晋三総理ですよ、</p>		



安倍晋三総理から麻生副総理の地元でもある北九州の道路の事業が止まるとのわけです。

ナレ「塚田副大臣が話題にしたのは本州と九州を新たに結ぶ下関北九州道路の構想、本州側の下関市は安倍総理の地元、一方の福岡県は麻生副総理の地元です、」

塚田国交副大臣「私すごく物分りがいいんです、すぐ付度します、わかりました、これを今回の新年度の予算に国で直轄の調査計画に引き上げました。」

ナレ「事業を管轄する立場にある塚田国交副大臣が付度をし、事業の事前調査を国の直轄に引き上げた、と発言したのです、」

"ナレ「今日の国会、塚田氏は謝罪に追われました。総理を目の前に神妙な面持ちです。」

塚田国交副大臣「事実と異なる発言によりまして多くの皆様に大変なご迷惑をおかけいたしました誠に申し訳ありませんでした。」 "

"初鹿明博（立憲民主党衆院議員）「事実と何が異なっているのかをきちんと説明してください。」

塚田国交副大臣「事実は私が付度をしたということはございませんし、安倍総理、麻生副総理の地元の案件だから特別な配慮をしたということはありません。」 "

ナレ「付度したという発言は事実ではなかった、と撤回したのです。」

"初鹿明博「事実じゃないことを選挙の応援に行って言ったと、有権者を馬鹿にしているんですか。」

塚田国交副大臣「私の発言は甚だ不適切であり事実を書いているものでありますし真実ではございませんでしたので大変申し訳なく思っております。」 "

"ナレ「本当に事実とは異なるのでしょうか、塚田氏はこう説明します。」

塚田国交副大臣「大勢の方が出席する会合でしたので、私が挨拶、ご挨拶、演説の中で熱がこもってしまい、我を忘れて事実とは違うことを言ってしまったということです。」 "

ナレ「実現すれば本州と九州を結ぶ新たなルートとなる下関北九州道路、本州と九州を結ぶ道は既に関門トンネルと関門橋の2つがあり、新しく道路ができれば3つ目のルートになります、長さ8キロに渡るこのルート、総工費は数千億円に登ると見られていて2008年には財政難のため、一時事業がストップしていました。」

"地元の人 A「私は別にいらない、もうお金がもったいないというような気がして。」

地元の人 B「一部の方は便利だろうと思いますけれど公共的に考えるとどうなのかな、と。」

地元の人 C「便利だと思いますよ。」

地元の人 D「渋滞してますでしょ、だからその渋滞が避けられるという意味ではいいと思いますよ。」 "

"ナレ「実現に向け要望書を出している団体の一つは。」

羽田野隆士（北九州商工会議所専務理事）「特に関門トンネルに関しては毎年のようにメンテで一定の期間道路が閉鎖する状態になっているわけですね、同時通行止めになると完全にアウトになりますからね。」 "

ナレ「建設から45年がたった関門橋と60年がたった関門トンネル、老朽化で改修工事を繰り返している他、事故などで度々通れなくなるといいます、こうした事情もあつてか安倍政権下の2017年以降、国は事業の調査費を一部補助、計画は息を吹き返しました。」

"ナレ「去年11月には地元議員らが計画の実現に向け自民党本部ではじめての会合を開いていました、そんな中飛び出したのが塚田氏による付度発言です。おとといの本人の発言によりますと当時の状況はこうです。」

塚田国交副大臣「大家敏志さんが私がもうひとり逆らえない吉田博美さんという参議院の幹事長と一緒に私の副

大臣室にアポを取ってこられました。』

ナレ「塚田氏のいる副大臣室を自民党の大家参院議員と吉田参院幹事長が訪問、すると吉田参院幹事長はこう話したといいます。』

音声「塚田、わかっているな、これは総理の地元と副総理の地元の事業なんだよ、俺が何で来たと思うか？」

ナレ「これに対し、塚田氏は、わかりました。と答えたといいます。』

塚田国交副大臣「私すごく物分りがいいんですよ。すぐ付度します。わかりました、と。そら、総理とか副総理がそんなこと言えません、そんなこと、そんなこと実際ないんですよ森友とかいろいろ言われていますけれども、でも私は付度します。」 "

"ナレ「これまで、調査は国の補助を受け自治体が行っていましたが今年度から調査の主体は自治体から国へと引き上げられました、その費用として今年度予算でおよそ 4000 万円が計上されたのです。」

ナレ「別に知事に頼まれたからやったわけではないですよ。私が付度をしたということでございますので、ぜひそのところをご理解いただきたく思います。」 "

"ナレ「塚田副大臣が働きかけを受けた相手として名前を上げた吉田参院幹事長。」

塚田国交副大臣「吉田幹事長が私の顔を見てな、塚田、わかっているな、」

ナレ「これも。事実ではなかったのでしょうか。」 "

"記者「吉田参院幹事長の名前とか出されていたようですけれども、」

塚田国交副大臣「これは当該道路事業の要望を吉田参議院議員からお受けしていたという事実がございまして、そのことを私自身が自分で事実と違う発言に置き換えてしまったということです。」

ナレ「吉田参議院幹事長も面会の事実は認めたくえで、わかっているな、と発言した事実はないとしています。」 "

"ナレ「一方、野党は」

枝野幸男（立憲民主党代表）「まだやめていないんですか、あ、まだやめていないんですか。まあ普通なら恥ずかしくて副大臣なんて続けていられないのが、普通だと思うんですが、やめていないことにびっくりしています。」

"

"ナレ「しかし、総理は塚田副大臣の罷免には否定的です。」

安倍総理「まずは本人からしっかりと、説明すべきでありそのことを肝に銘じて職責を果たしてもらいたい。と。」

このVTRをうけて、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"雨宮塔子「塚田副大臣は付度発言は事実ではなく撤回すると言っていますが、そんな言い分って通るんですか。」

星浩「そうですね、まずその道路建設っていうのは国交省の所管なんですよ、ですから塚田副大臣には職務権限があるんですよ、でその発言どおり付度したというのであればこれは予算の私物化そのものですよね、一方、事実でなかったというのであれば嘘をついて選挙運動をしたということで有権者を騙したことになりますよね、大手飛車取りということになりますのでこれは政治家としてはどっちもやっちゃいけないということですよ、ね、」

駒田健吾「政府も自民党も撤回謝罪で逃げ切りたいということでしょうか。」

星浩「まああの、自民党の幹部の人には予算も通って安倍一強のものでなんか緩みが出ているなあという感想を漏らしていましたね。明日参議院の決算委員会というのがありますので、そこで野党がどう攻めてくるのか安倍総理がどう答弁するのか、その答弁次第ではもしかすると辞任ということもありうる状況ですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 620 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ ゴーン事件：結論→特に問題なし

日産の前会長、カルロス・ゴーン容疑者について東京地検特捜部が新たな容疑での立件を検討していることがわかったとのが報じられた。このトピックに当てられた時間は 121 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 中国の駐日大使：結論→特に問題なし

中国政府が程永華駐日大使を交代させる方針を固め日本側に伝えたことがわかったとのが、後任には同じく日本勤務が長く現在は朝鮮半島問題の特別担当を務める孔鉉佑外務次官を起用する方針が固まっています。中国政府としては 2 代続けて知日派を当てることで日中関係の改善をさらに進める狙いがあると見られているとのが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 77 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ トランプ大統領：結論→特に問題なし

アメリカのトランプ大統領の別荘に不法に侵入した疑いで中国人を名乗る女が逮捕されたこと、女は中国のパスポート二冊に携帯電話 4 台とコンピュータウイルス入りの USB メモリを持っていたとのが報じられた。このトピックに当てられた時間は 25 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 天皇陛下が行事欠席：結論→特に問題なし

天皇陛下は昨夜の就寝中から咳の症状があり侍医の判断で午前と午後の宮中祭祀への出席をとりやめられたとのが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・ 塚田国交副大臣：結論→印象操作の疑いあり

星キャスターがスタジオで「まずその道路建設っていうのは国交省の所管なんですよ、ですから塚田副大臣には職務権限があるんですよ、でその発言どおり付度したというのであればこれは予算の私物化そのものですよ、一方、事実でなかったというのであれば嘘をついて選挙運動をしたということで有権者を騙したことになりますよね、大手飛車取りということになりますのでこれは政治家としてはどっちもやっちゃいけないということですよ、」や「自民党の幹部の人には予算も通って安倍一強のものでなんか緩みが出ているなあという感想を漏らしていましたね。明日参議院の決算委員会というのがありますので、そこで野党がどう攻めてくるのか安倍総理がどう答弁するのか、その答弁次第ではもしかすると辞任ということもありうる状況ですね。」とコメントしていた。

この「選挙運動」というのは福岡県知事選挙のことであろうが、この選挙は保守分裂選挙と言われており、自民党の現職あるいは元職の政治家の間でもどちらの候補を支持するのが割れている。安倍一強というのが本当であれば、こうした定数が一人で単記制の選挙の候補者選定で揉めることなく、それこそ安倍総裁の意向で候補者一本化くらい容易にできるはずであるが、実際にはそうはなっていないというところからも、「安倍一強」

がどれほど真実味のある話なのか甚だ怪しいところではある。

こうした中でのスタジオでの星キャスターの発言は、そうした検討を欠いて「安倍一強」という結論ありきで、どこの誰ともわからない「自民党の幹部」からの伝聞という形で「安倍一強」という誤った印象を視聴者に対して一方的に与えるような発言であるといえる。

#### 検証者所感

##### ・塚田国交副大臣

星キャスターがスタジオで「まずその道路建設っていうのは国交省の所管なんですよ、ですから塚田副大臣には職務権限があるんですよ、でその発言どおり付度したというのであればこれは予算の私物化そのものですよ、一方、事実でなかったというのであれば嘘をついて選挙運動をしたということでは有権者を騙したことになりますよね、大手飛車取りということになりますのでこれは政治家としてはどっちもやっちゃいけないということですよ、」と述べていた。

確かにこれまで、所管省庁の政務三役が「付度」などという言葉を使うということは殆どなかったのだろうが、そうした発現の有無にかかわらず、日本全国どの土地であってもそこは誰かの選挙区であるわけだから、そうした特定地域への政策について「付度」の可能性というのはいくらでも議論することは可能ではないだろうか。今回のように与党の有力現職政治家の地域に限らず、例えば引退後もなお政界に影響力を持つ政治家の地盤であるとか、あるいは野党の有力政治家の地盤であるとか、政権の政策を円滑に進めるということを狙いそうした地域に対する政策や補助を行うということはこれまでの日本政治でも行われてきたことであるが、そうしたことについても「付度」の可能性を完全に否定し切ることが出来ないということになる。つまり、特定地域への政策にはすべからず「付度」の可能性がつきまとうわけだが、こうした可能性を排除するには、そもそも特定地域や業界・領域のみを対象とした政策を国政レベルでの政治的意思決定のテーブルには乗せず、地方政府であるとか市場に委ねていくという方向を選ぶ必要があると考えられるが、「付度」という言葉尻のみを捉えている人たちはそうした点についてはどう考えているのだろうか、気になるところである。

また、「付度」というのは内心の問題であるから、塚田国交副大臣の「付度」発言についても塚田国交副大臣が心底「付度」をして政策決定を行ったことを演説で話してしまったのか、そうではなく実際には「付度」などはしていなかったが選挙民に対して麻生副総理がいかにも有力政治家であるかをアピールするためにリップサービスとして「付度」という言葉を使ってしまったのか、どちらなのかという証明は不可能な話である。

本当に塚田国交副大臣が心底「付度」をしていたのであれば、「付度」という言葉を使うことが、「麻生命」とまで慕う親分の足を引っ張る結果にしかならないことくらい、それこそ「物分りがいい」人であれば容易に想像ができるはずであるのだから、本当は「付度」などしていなかったが親分や有権者の歓心を買うために本当はしていない「付度」をいかにもしたかのように話してしまったということなのではなかろうか、と検証者個人としては考えている。

VTR 中で立憲民主党の枝野幸男代表が「まだやめてないんですか、あ、まだやめてないんですか。まあ普通なら恥ずかしくて副大臣なんて続けていられないのが、普通だと思んですけど、やめていないことにびっくりしています。」とコメントしていたが、その通りである。

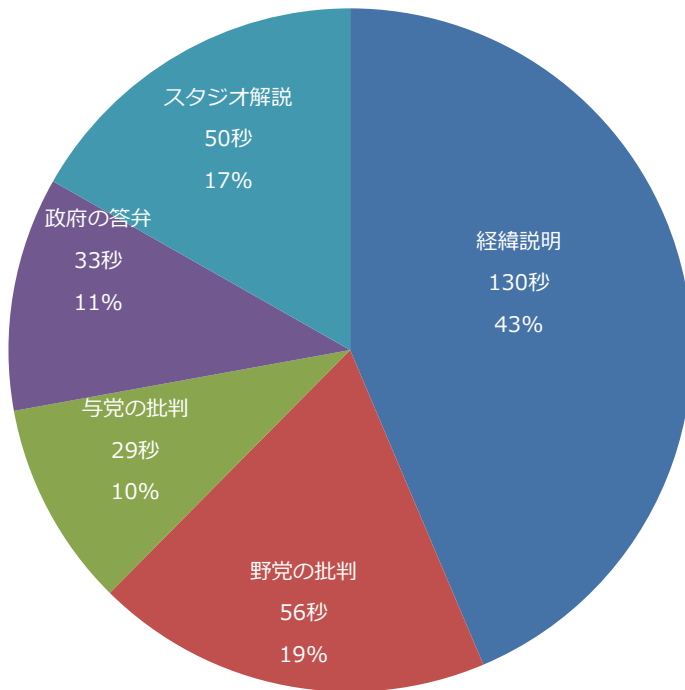
塚田国交副大臣が本当に「物分りがよく」、安倍総理や麻生副総理に「付度」ができるような人物であれば、

## NEWS23 週刊報告 詳細版

そもそも「忬度」発言などなかっただろうし、そうした発言をしてしまったとしても、それが騒ぎになれば自身が政権や親分の足を引っ張ることになるのは目に見えているのだから、野党政治家からあれこれ言われるよりも先に辞表を提出していただろう、というのも報道を聞いていて感じるところである。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年4月4日
出演者：【キャスター】駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：塚田副大臣「忬度」発言、徴用工訴訟問題、天皇陛下が公務に復帰		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピエール瀧被告保釈</li> <li>・ゴーン容疑者4回目の逮捕</li> <li>・塚田副大臣「忬度」発言</li> <li>・村木厚子さんの新たな挑戦</li> <li>・セブンイレブン社長交代発表</li> <li>・体内にワイヤ放置で患者死亡</li> <li>・徴用工訴訟問題</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピエール瀧被告保釈</li> <li>・ゴーン容疑者4回目の逮捕</li> <li>・杉並女性保育士殺害事件</li> <li>・天皇陛下が公務に復帰</li> <li>・手紙、はがき値上げ</li> </ul> </li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塚田副大臣「忬度」発言→結論：放送法第四条第一項第三号に違反。</li> </ul> <p>今回は塚田国交副大臣の「忬度」発言とそれに対する野党の批判の様子が伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は298秒で、経緯説明・野党の批判・与党の批判・政府の答弁・スタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

宇内「私が付度した。波紋が広がっている塚田国交副大臣の発言。野党だけでなく、与党内からも政治家失格など厳しい批判の声が上がっています。」

又市征治党首（社民党）「何度も付度、付度。こんなことを公然と選挙の集会で何度も言う。もうたるみっぱなしじゃないですか。」

蓮舫副代表（立憲民主党）「これは付度ではなく、もう利益誘導です。税金は自民党のためのものであると、まさに明言しているようなもの。」

ナレーター「問題となっているのは塚田国土交通副大臣の選挙集会でのこの発言。『吉田幹事長が私の顔を見て、塚田分かっているな。これは総理の地元と副総理の地元の事業なんだよと。私すごく物分りがいいんです。すぐ付度します。分かりましたと。』付度します。塚田副大臣がこう明言したのは、本州と九州を結ぶ下関北九州道路の構想について。両側はそれぞれ安倍総理と麻生副総理の地元です。自民党政権化の2008年に計画が凍結されていましたが、『これを今回の新年度の予算に、国で直轄の調査計画に引き上げました。』この発言どおり、今年度は国の直轄調査として予算が計上されました。しかし、当の塚田副大臣はこの発言は事実と異なるとして、撤回・謝罪しています。」

塚田副大臣「演説の中で熱がこもってしまい、我を忘れて事実と違うことを言ってしまった。」

蓮舫「我を忘れてうそをつける人が政治家で居ていいのかというレベル。安倍総理がなぜ罷免しないのかが分か

りません。』

ナレーター「野党側は塚田副大臣の辞任を求めている、今日の国会で厳しく責め立てました。」

小川敏夫参議（立憲民主党）「塚田国交副大臣を罷免しないんですか。」

安倍総理「すでに本人から撤回し、謝罪したと承知しているが、まずは本人からしっかりと説明すべきであり、そのことをしっかりと肝に銘じて職責を果たしてもらいたい。」

小川「副大臣、一言お尋ねいたしますが、ご自分から責任をとって辞任するという意思はないのですか。」

塚田副大臣「私自身は説明責任をしっかりと果たすことによって職責を全うしてまいりたいと考えております。」

ナレーター「あくまで続投させる意向の安倍総理に、辞任を否定する塚田副大臣。この姿勢に。」

磯崎哲也参議（国民民主党）「重大な問題を犯したことに對し、肝に銘じるだけでよろしいのか。」

ナレーター「厳しい声は与党からも上がっています。『完全にアウト。あの発言は許されない。』『政治家失格だよ。』

一方、今日の野党のヒアリングで国交省は、塚田副大臣と吉田参院幹事長らとの面会に道路局長などが同席していた可能性を認めました。」

長妻昭代表代行（立憲民主党）「その時のやり取りについて詳細にできる限り詳しくメモで出していきたい。やましいことがなかったら出してください。」

国交省担当官「やり取りについては戻って確認をしたい。」

ナレーター「塚田氏と吉田氏は一連の発言内容について否定していますが、野党側は当時の資料の提出を求めています、更に追求する構えです。」

雨宮「発言の後に、謝罪・撤回はしても、自分から責任をとって辞任するということにはいかないんですね。」

星「そうですね。この政権では謝罪・撤回はしても責任は取らない、辞めないということは繰り返されていますよね。例えばこの、麻生さんも公文書の改ざんがありましたけれども辞めませんし、片山大臣、根本さんは統計不正がありましたけれども続投と。」

駒田「塚田副大臣もそのパターンになりつつあるということでしょうか。」

星「そうですね。野党が攻めきれないというのがありますし、自民党の中からも辞めるべきだという筋論があまり広がらないんですね。」

駒田「それにしても、この責任を取らないというのはこの政権の特徴でしょうか。」

星「まあ、際立った特徴だと思いますね。当面はこれでしのげると思うんですが、全体としてけじめを付けませんから政治の全体のレベルが低下していくと自覚するべきだと思います。」

時間配分は「野党の批判」が割合として大きいようにもあるが、比較的公平なものであると言える。しかし、スタジオ解説の中で星キャスターが発した言葉には大きな問題があるといえる。

星キャスターはスタジオ解説の中で次のように発言している。

星「そうですね。この政権では謝罪・撤回はしても責任は取らない、辞めないということは繰り返されていますよね。例えばこの、麻生さんも公文書の改ざんがありましたけれども辞めませんし、片山大臣、根本さんは統計不正がありましたけれども続投と。」

駒田「塚田副大臣もそのパターンになりつつあるということでしょうか。」

星「そうですね。野党が攻めきれないというのがありますし、自民党の中からも辞めるべきだという筋論があまり広がらないんですね。」



## NEWS23 週刊報告 詳細版

駒田「それにしても、この責任を取らないというのはこの政権の特徴でしょうか。」

星「まあ、際立った特徴だと思いますね。当面はこれでしのげると思うんですが、全体としてけじめを付けませんから政治の全体のレベルが低下していくと自覚するべきだと思います。」

星キャスターの発言の要旨としては「安倍政権は責任を取らない」というものである。「責任を取る」ということが辞任ということと結びつく内容であるが、これは安倍政権の閣僚政治家に限ったことではない。野党の中にもある種の不祥事を持ちながら議員・所属政党の役職に就いている者は存在する。例えば、今トピックにおいて塚本副大臣を批判している蓮舫議員とて国籍問題について責任を取って何かをしたという話はずいぶん聞かない。

星キャスターは安倍政権に対して責任を取らないということを述べているが、それを言うならば主語は安倍政権とすることが必ずしも適当とは言えず、事実と反する内容であると言える。

今回は放送法第四条第一項三号「報道は事実を曲げないですること」に違反している。

・徴用工訴訟問題→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は韓国での新たに徴用工訴訟が起こされたことが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 32 秒であり、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・天皇陛下が公務に復帰→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は天皇陛下がパナマの大統領と懇談されたことと合わせて、咳のために中断されていた公務に復帰されたことが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 24 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

検証者所感  
特になし。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年4月5日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：塚田国交副大臣辞任、コンビニエンスストアの営業時間問題、米軍普天間飛行場移設問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塚田国交副大臣辞任</li> <li>・ゴーン容疑者、再逮捕前日の映像が公開</li> <li>・小惑星探査機「はやぶさ2」世界初のミッションに成功</li> <li>・コンビニエンスストアの営業時間問題</li> <li>・最新鋭旅客機の墜落について、ボーイング社が誤作動を認める</li> <li>・米軍普天間飛行場移設問題</li> <li>・韓国で大規模山火事、「国家災難事態」を宣告</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today             <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチロー元選手 3度目の国民荣誉賞辞退</li> <li>・アマゾン CEO 元妻への財産分与後も世界長者首位をキープ</li> <li>・人手不足で倒産 400 件、18 年度過去最多</li> <li>・天皇陛下 最後の信認状捧呈式</li> </ul> </li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塚田国交副大臣辞任：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>今回の報道は公共事業をめぐる「付度」発言に起因する塚田国交副大臣の辞任表明についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は424秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>雨宮キャスター「ここまで問題発言がはっきりしていて、辞任まで時間がかかったというのは、総理の盟友である麻生さんの派閥の議員ということが大きいのでしょうか？」</p> <p>星キャスター「発言の悪質さからすれば直後に辞任させるのが普通でしょうね。塚田さんは麻生さんの直系ですからそういう配慮もあったのでしょうか、身内をかばうというこの政権の体質が出たといえますね。」</p> <p>駒田キャスター「塚田さんは、付度して予算を付けたのは事実ではなかったと釈明していますが、真偽はどうなんでしょうか？」</p> <p>星キャスター「そのへんがポイントだと思いますね。事実でないならなんで喋ったのか。場の空気に吞まれたといいますが、あまり説得力がないですね。予算がついた根拠はいったい何なのか。塚田さんと吉田幹事長の会談の席には国交省の道路局長も同席していますから、そのあたりの説明も必要になりますね。週明け、その説明は国会で続くと思いますね」</p>		

## NEWS23 週刊報告 詳細版

・コンビニエンスストアの営業時間問題：結論→特に問題なし

今回の報道はコンビニエンスストア各社が 24 時間営業の見直しを検討していることについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 240 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮キャスター「私たちの仕事は深夜に終わるわけですが、宇内さんは帰宅途中にコンビニに寄ったりしますか？」

宇内キャスター「番組終わりに必ず寄って夜食を買ったりします。ライフラインではありますね」

星キャスター「便利さを競ってきたのですが、行き過ぎがあるかもしれませんね。これからは働き方改革や省エネや環境問題との兼ね合いが必要になりますから、うちは営業時間ではなく環境にやさしい店なんだということウリにするのも有りかもしれませんね。」

雨宮キャスター「コンビニによって個性が違うというのも、いいかもしれませんね」

・米軍普天間飛行場移設問題：結論→特に問題なし

今回の報道は政府側が沖縄県知事による行政処分を取り消しの裁決を行ったことについて報道であり、このトピックについて当てられた時間は 32 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。